

「ずっと地球で暮らそう。」 プロジェクトについて

Message

コスモ石油エコカード基金は9年目。
これからも会員の皆さまとともに。

コスモ石油エコカード基金は、2002年4月に生まれ、2010年4月で9年目に入りました。昨今の厳しい経済情勢の中、これだけ長く続けてこられたのは、ひとえに8万5千人もの会員の皆さまの支えによるものです。皆さまにはここに厚く御礼を申し上げます。

私は2009年9月に、支援先プロジェクトである「種まき塾」で行われたエコツアーにエコカード会員の皆さまとともに参加しました。森の中から「実生」を採取し、ゴルフ場跡地を元の自然林に戻すための植林活動を通じて、北海道・富良野の空気や土を五感すべてで感じられたこと、何より一緒に参加した会員の皆さまからさまざまな感動の声をお聞きできたことで、プロジェクトの意義を改めて確信しました。この報告書を通じて、私が感じたことやプロジェクトの現場の空気を少しでもお伝えできれば良いと思います。

そして、皆さまからお預かりした基金をより有意義に活用するために、我々が会員の皆さまになり代わり、透明性と健全性を意識した基金の運営を続けることが重要であると考えます。来年は10年目という節目に当たります。長い目で長期的に取り組むもの、短期間で集中的に取り組むものなど、メリハリをつけて支援を行っていきたくと考えております。

最後に、当基金をご支援いただいている会員の皆さまに改めて心から御礼を申し上げます。今後とも温かいご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



コスモ石油エコカード基金
理事長

松村 秀登

「種まき塾」エコツアーにて

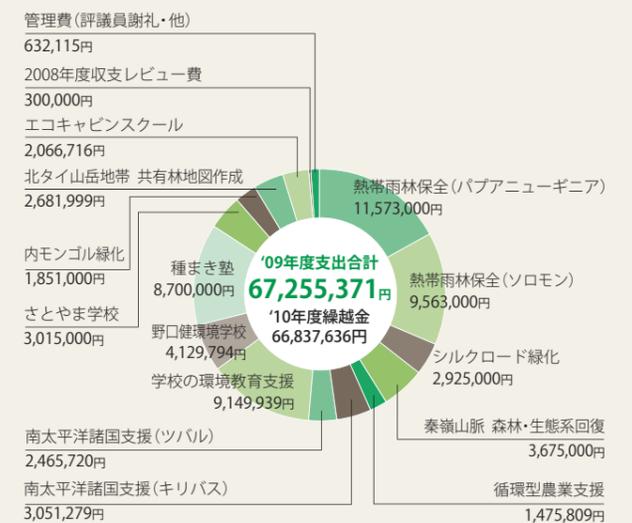
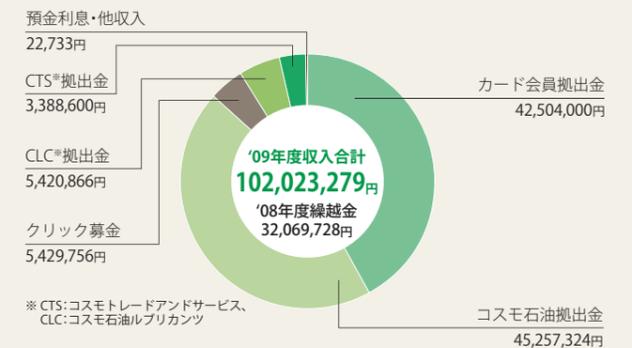
コスモ石油エコカード基金では、「国内外の環境修復と保全」及び「次世代の育成」をテーマに、持続可能な社会の実現をめざしています。

本基金で展開している「ずっと地球で暮らそう。」プロジェクトでは、

「地球温暖化問題への取り組み」及び「生物多様性の保全」という2つの側面から、環境問題には、貧困、食糧難、教育など、さまざまな社会的な課題が密接に関連しているという現実を踏まえ、本質的な問題解決に取り組んでいます。



●収支報告



●資産規模と会員数の推移(過去5年間)



収支計算書に対する独立した公認会計士のレビュー報告書

2010年4月23日 公認会計士 加藤 俊也

私は、コスモ石油エコカード基金(以下、基金という。)の委嘱に基づき、基金の2009年度(2009年4月1日から2010年3月31日まで)の収支計算書について、日本公認会計士協会監査・保証実務委員会研究報告第20号「公認会計士等が行う保証実務等に関する研究報告」に準拠してレビューを行った。レビューの結果、上記の収支計算書が、基金の2009年度(2009年4月1日から2010年3月31日まで)の収支の状況を適正に表示していないと認められる事項は、すべての重要な点において発見されなかった。基金と私の間には、公認会計士法の規定に準じて記載すべき利害関係はない。